

“男女共同参画の情報誌”

2022

with

5
月号

ういず

vol.7

ウイズセンター

(岡山県男女共同参画推進センター)



～コンテンツ～

・アンコンシャス・バイアス

・DV 被害防止
対策強化事業

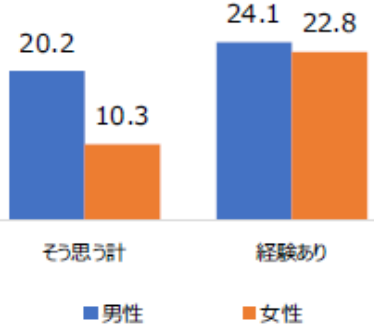
・インフォメーション

こ
へきこい

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）とは？

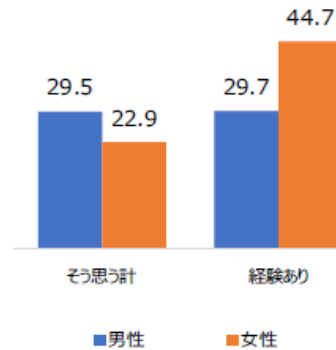
内閣府の令和3年9月30日の調査結果によると、回答者の76.3%に、性別による無意識の思い込みが見られる結果となり、特に50代・60代といった業務を管理する立場にあることが多い年齢層に強く現れたそうです。「男は仕事、女は家庭」といった考え方や思い込みを前提とした人事管理、業務管理を行うことは、意欲と能力に応じて活躍することを阻害する要因にもなり、また、そのような働き方により家庭不和や離婚などの問題を引き起こすことにもなりかねません。このようなことから、性別による無意識の思い込みに気づき、これを解消していく必要性が特に高いと考えられます。

Q：男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ



そう思う男性は、女性の2倍。「男性だから仕事は遅くまで残って頑張りなさい」と上司から言われた。(経験者)

Q：家事育児は女性がするべきだ



女性の半数近くが「女性がするべきだ」という思い込みを決めつけられた経験がある。配偶者・パートナーから言われることが多い。

次のような「思い込み」はありませんか？チェックシートでチェックしてみましょう！

(参考:内閣府 HP) https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html



■無意識の思い込み - チェックシート -



■無意識の思い込み - チェックシート -



Q あなたの性別は、当てはまるもの 内にチェック「✓」を入れてください。
 男性 女性 その他

◆チェック項目① 「Yes」と思う設問の 部分にチェック「✓」を入れてください。

- A ① 仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い
- B ② 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ
- B ③ 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない
- B ④ 男性は人前で泣くべきではない
- B ⑤ 女性には女性らしい感性があるものだ
- A ⑥ 男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ
- A ⑦ 組織のリーダーは男性の方が向いている
- A ⑧ 女性の上司には抵抗がある
- B ⑨ PTAには、女性が参加するべきだ
- B ⑩ 実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ
- B ⑪ 男性は結婚して家庭をもって一人前だ
- B ⑫ 家事・育児は女性がするべきだ

◆チェック項目② 「Yes」と思う設問の 部分にチェック「✓」を入れてください。

- A ⑬ 同程度の實力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ
- B ⑭ 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ
- B ⑮ 女性は感情的になりやすい
- A ⑯ 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- B ⑰ 男性は仕事をして家計を支えるべきだ
- A ⑱ 女性は正規雇用にござわりなくともよい
- A ⑲ 女性社員の昇格や管理職への登用のための特別な教育・訓練は必要ない
- A ⑳ 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい
- B ㉑ 女性には高い学歴やキャリアは必要ない
- A ㉒ 事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ
- B ㉓ 自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ

以上です。お疲れ様でした。

※あなたが、「Yes」と回答した数を 横のA、Bごとに合計して記入してください。

A_職場のチェック数は、 合計 個

B_家庭、教育、地域、その他のチェック数は、合計 個

DV被害防止対策強化事業

岡山県では、女性の多くがDV被害を受けているにもかかわらず、相談ができず潜在化していることなどから、今年度、新たに3つの事業を実施します。

現状と課題

令和元年度の県民意識調査によると、女性の約4割がDV被害を受けている現状にあります。しかしDV被害者の4割は相談していないなどDV被害者の深刻化・潜在化が懸念されることから、相談機関や支援機関につなぐ必要があります。そこでDV被害者支援に取り組んでいる関係機関・団体の資質向上、連携を図り、地域のセーフティネットを強化する必要があります。

コロナ禍におけるDV被害防止対策強化事業【令和4年度新規事業】

【1 SNSを活用したプッシュ型アプローチ事業】

SNSを活用したプッシュ型アプローチにより、潜在化している被害者に対して「気づき」を促し、相談機関や支援機関へつなげます。

潜在リスクに
アプローチ



【2 資質向上・連携支援事業】

市町村、配偶者暴力相談支援センター、児童相談所、NPO、民間シェルター等を対象として、情報や課題の共有、専門講師による専門性の高い研修やケーススタディを通じて、資質向上と連携を図ります。(年5回)



DV被害者の
支援に携わる
機関の
資質向上と
連携

【3 DV被害者等セーフティネット強化パイロット事業】

国のパイロット事業を活用し、シェルターの先進的な取組を支援します。

先進的な
取組を支援



上記の事業により、潜在化したDV被害者を相談機関につなぐとともに、その受け皿となる地域のセーフティネットの強化を図ります。



【今号の表紙】グラ 統合失調症。2021年から「ありがとうファーム」で働き始める。ユーモアと繊細さを併せもつタッチで魅力的な作品を生み出している。新しいことに挑戦していく意欲をもって日々活動中。

～Message～

会社勤めをしていたときに空いた時間があれば絵を描いていました。障害がありますが、絵を描くことで治療できたらいいなと思って続けています。自分なりに成長できたらと思います。

(<https://www.arigatou-farm.com/>)

★出前講座・来所講座、随時承ります！★

ウィズセンターでは、県内の各団体(地域コミュニティ、女性会、老人会、PTA など)や学校、職場などで男女共同参画について学んでみたい方を対象に、出前講座・来所講座を承っています。

講師は、センターの『情報交流員』などで、謝金・旅費・資料代などは不要です。講座の内容は、ご要望に応じて対応いたしますので、ぜひ、ご利用ください。



★★出前・来所講座お申し込みの方法★★
まずはウィズセンターへお電話ください。

次の事項をお知らせください。



- 希望の日時
- 研修の内容・開催場所
- 参加人数
- 参加対象(自治会、女性会、事業所、PTAなど)

【来所時のお願い】

※きらめきプラザ駐車場には限りがあります。公共交通機関を利用してお越しください。

※大型バスの場合は、きらめきプラザ前の乗降は可能ですが、駐車は出来ません。

↑ 出前講座
来所講座 →

ウィズライブラリー ～新着図書より～



こんな世の中で生きていくしかないなら

りゅうちる／朝日新聞出版 2021年

「自分を好きになるなんて難しい。できることは自分を甘やかしてあげること」。りゅうちる初の著書。「多様性」や「自分らしさ」「子どもへの教育」「家族愛」など、いま思うことをつづる。



リエゾン4- こどものこころ診療所

竹村優作／ヨンチャン
講談社／2021

人知れず学校や家庭でトラブルを抱え、孤独や苦痛に耐えながら生きる人たちに向き合い続ける児童精神科医の物語。

映画のつどい

◆ 6月16日(木) 13:30~15:30

「弟の夫」

亡くなった弟の夫はカナダ人で・・・男だった。
2018年 日本映画 佐藤隆太、把瑠都 他

◆ 7月21日(木) 13:30~15:10

「天のしずく」

辰己芳子 “いのちのスープ” 愛することは生きること
2012年 日本 監督・脚本：河邑厚徳、朗読：草笛光子

「映画のつどい」はお申込みなしで参加いただけます。当日の開始時刻までに会場(ウィズセンター会議室)へお越しください。ご参加をお待ちしています。(参加無料：定員30名)
※やむを得ず中止となることがありますのでご了承ください。



ウィズセンターは
土・日曜日も開館しています。
お気軽に、お越しください。

開館時間 火～土曜日/9:30～18:00 (休館日) 月曜日・祝日・年末年始
日曜日/9:30～17:00

編集・発行

岡山県男女共同参画推進センター
(ウィズセンター)

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1
きらめきプラザ(県総合福祉・ボランティア・NPO会館)6階
TEL 086-235-3307 FAX 086-235-3306
Eメール danjo@pref.okayama.lg.jp



ウィズセンターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。